



▲備後庄原駅に到着する列車を撮る子どもたち(平成25年9月23日撮影)

乗りんさい

芸備線

VOL.10

備後庄原駅

備後庄原駅が開業したのは1923年12月8日のこと。今月で90歳を迎えます。駅舎の一部は子育て支援センターとして利用されるなど改修が重ねられていますが、全面的な建て替えが行われたことは無く、基本構造は開業当時のままです。本数が減り、現在では備後庄原から東城までを一日で往復できない芸備線ですが、片道は高速バスを使うことで、日帰りの鉄道旅行が楽しめます。備後庄原駅から始まる小さな旅へ、あなたも出かけてみませんか。

当日は朝から快晴。空は青く、なつかしい風景に胸キューン。「ねえ、あと何枚写せる？」と突如の問い掛けに我に返った。

この日は久代自治振興区が主催する久代わいわい講座。親子を連れて芸備線に乗っている子どもたちに使い切りカメラを渡し、好きな風景を撮らせた。初めて切符を買い列車に乗る子どもたち。そのスピード感と風景に心躍らせ、庄原・東城間の小さな旅を楽しんだ。写真は1月の久代ふるさと祭りに展示する予定。私は懐かしい芸備線で若き日の思い出をしばし楽しんだ。

池田 悦子(東城町)

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたいくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文(100文字程度)乗車体験記(200字程度)を郵送またはメールでお送りください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール
koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します!



おいしいものは 地産地消 推進店 庄原市 地元にある!!

カフェレストラン そらら

登録第25号店

所 高野町下門田49 道の駅たかの内
☎ 0824-86-3131
営 11時~17時
休 水曜日(12月~3月は第2・第4水曜日)
HP <http://www.takanoyama.jp>

取り扱う市内産食材 米、野菜、果物、肉、卵など

▶▶▶ 料理長の新井達英さん(あえい)に聞きました。

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか?
道の駅たかのは、庄原市の農業・観光関連事業の活性化と所得向上を大きな目標に掲げて、今年4月にスタートしました。オープン当初から、地元食材を使うことで農家所得向上に貢献しながら、食材の良さ・おいしさをお客さまにPRすることは使命のひとつと考えています。その姿勢を少しずつ市内外で評価していただきつつある今、改めてお客さまに私たちの思いをお伝えできればと登録しました。

お店の推進店としてのこだわりは?
高野町の高野大根・口和町の瀬戸もみじ豚などを使ったメインディッシュ、採れたて野菜のサラダをはじめ、米、味噌汁、小鉢、漬物など、使えるものにはすべて庄原市内産品を使っています。お客さまに「おいしい!」「小鉢・漬物に至るまで、丁寧に手を抜かずに作られていて感激」とおっしゃっていたのが最高にうれしいです。

皆さんへ一言
ランチメニューにも、カフェタイムのお茶やケーキにも「地元産品」をたっぷり使っています。旬の素材を使うため、いずれも期間限定・数量限定になることが多いのですが、そららの広い窓から見える松江道と、日々色を変える風景を合わせて「高野の移り変わる四季」を楽しんでいただきたいと思います。皆さまのお越しをスタッフ一同お待ちしております。



▲瀬戸もみじ豚のロスカッツ (1300円)

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか? 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係(☎0824-73-1255)まで。